

災害の危機管理は

浜西 金満 議員

答 地域ぐるみで構築



【浜西】 神戸市の川や東京の下水道、愛知県岡崎市等で人が流されましたが住民への周知方法は考えているか。
【総務部長】 防災無線、電話、地域の連携が必要。

【浜西】 全国的に地震・ゲリラ豪雨が発生しています。また、台風時期になり、江田島市の河川を見ると草木が茂り、土砂がたまり、大雨が降ると洪水になり、高潮と重なると大変な事態になるが、災害の危機管理はどのように進めるか。
【市長】 堤防・護岸等の適正な維持管理に努め、また、地域ぐるみの総合的な対策を構築していく。

【浜西】 平成17年度には、江田島市総合訓練を地元消防団、日本赤十字広島県支部、海上自衛隊第一術科学校等約70機関で、平成16年度の石油コンビナート防災訓練では、呉地方総監部のホーバークラフトに消防車両を積載した訓練まで実施している。

平成17年度以降に市民参加の実働訓練を実施していないが、市民の防災啓発を推進する意味でも防災機関とタイアップし



▲ 防火訓練

た訓練を実施してほしいが、計画はあるか。
【総務部長】 総合防災訓練は行っていないが、市民参加の実働訓練は行っているし、自主防災組織の活動も活発になっている。平成22年には鹿川で石油コンビナート防災訓練を県と市が共催で行う予定。

【浜西】 2年前の断水時以来、各自治会の支え合う仕組みもできつつありますが、自然災害は何倍も大変なので官民一体となって強力な危機管理体制を築いて欲しい。

ごみのリサイクル

越野 哲也 議員

答 減量化を図る



【越野】 循環型社会を形成するため、さらに細かく分別し、ごみ排出の削減やリサイクル率を向上し、最終的に処分場に入るごみをゼロにしようという運動を目指してはどうか。

【市長】 環境に優しい江田島市を目指し努力している。今後は、レジ袋からマイバック持参の向上や古着類のリサイクルにも取り組み、減量化を図る。



▲ リサイクル回収箱

【越野】 呉市へのごみ処理委託費や最終処分場に係る経費が、ごみの減量によって半減される。新しい部署を作っても積極的に進めてはどうか？
【市長】 行政スリム化の観点であるが、セクションを検討する。

【越野】 カブトガニという重要な自然教材もある。職員体制や愛称など、運営のあり方について考える委員会を作ってはどうか。
【教育長】 職員は不足しており、愛称も含め運営委員会の設立は、早急に検討する。

環境館の事業活性化は

【越野】 大柿自然環境体験学習交流館（環境館）は、自然を学べる素晴らしい施設だが、この事業をさらに整備拡大してはどうか。
【教育長】 市民に開かれた生涯学習の場として、身近な自然に触れ、学習する施設です。今後もさらなる充実を図っていく。

ふるさと納税について

【越野】 今年6月からスタートした「ふるさと納税」収入の見込める制度であるが、取り組み状況は？
【市長】 9月現在で6件、17万円の寄付があります。今後、東京・大阪への広報活動を行い、ふるさと江田島への関心や思いを喚起していく。

荒廃農地を活かす政策を

登地 靖徳 議員

答 解消に取り組む



【登地】 荒廃農地の拡大は地域の衰退・崩壊につながる。今後、江田島市が成長をしていく為には、避けて通れない点であると考えます。
・海に面した美しい自然環境は江田島市の宝物
・農家の天敵「イノシシ」繁殖の快適空間になっている。
・ムカデ・ヘビ・蚊その他害虫の繁殖地となり
・伸びた雑草・雑木は道路を塞ぎ、河川をまたぎ隣地の住宅・田畑に伸びて大迷惑をしている。
・美しく管理された農村風景は、クリスマス・カードにみられるような、行ってみたいくなる魅力ある地域を形成。
・この1年余りの間、世

界の食糧事情が一変している。穀物が燃料に変わって価格が倍増になり、原油価格の異常な高騰や米国のサブプライムローン、BRICS諸国の高度成長等いろいろの要素が加わって穀物が戦略物資になりつつあります。世界の人口60億人のうち8億人が食べることに不自由しており、1、500万人が毎年餓死している。
・日本の食糧自給率は40%
・世界の食糧事情は大変に深刻、不足気味で推移している。
・荒廃農地の解消と農業の繁栄策、食糧危機が起きた時の対応策を。
【市長】 農業者の減少と高齢化の進行により、耕作

もこの制度の啓発を行い、担い手となる農業者を中心に支援する。
【登地】 日本の荒廃率は8%、江田島市は？
【産業部長】 本市の耕作地面積1,872ha、荒廃農地953haで荒廃率は51%。



▲ どうする荒廃農地